

【資料3】

第4期障がい福祉計画のサービス見込み量に対する実績について

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	27年度達成率 (実績(b)/計画(a))	達成状況	評価と課題		
指定障害福祉サービス	訪問系サービス	居宅介護	時間分(月)	計画(a)	33,125	36,380	39,941		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	指定事業所におけるヘルパー人材の確保や利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。	
			実績(b)	26,354			79.6%				
		人分(月)	計画(a)	1,079	1,185	1,301		89.8%			
			実績(b)	969							
		行動援護	時間分(月)	計画(a)	1,354	1,429	1,504		計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)		指定事業所が少ないため、利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。
			実績(b)	783			57.8%				
	人分(月)	計画(a)	72	76	80		86.1%				
		実績(b)	62								
	同行援護	時間分(月)	計画(a)	4,107	4,365	4,623		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	指定事業所が少ないため、利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。		
		実績(b)	3,774			91.9%					
	人分(月)	計画(a)	191	203	215		96.3%				
		実績(b)	184								
重度訪問介護	時間分(月)	計画(a)	13,383	15,915	18,447		計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	指定事業所が少ないため、利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。また、平成26年4月からは、行動障がいのある知的・精神障がいの対象が拡大していることから、行動障がいの支援技術を持つヘルパーの確保も課題である。			
	実績(b)	10,731			80.2%						
人分(月)	計画(a)	37	44	51		73.0%					
	実績(b)	27									
重度障がい者等包括支援	時間分(月)	計画(a)	372	372	372		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)		指定事業所がないため、他のサービスで対応している。		
	実績(b)	0			0.0%						
人分(月)	計画(a)	1	1	1		0.0%					
	実績(b)	0									
日中活動系サービス	短期入所(福祉型)	人日分(月)	計画(a)	1,394	1,445	1,496		達成できた(100%以上)		指定事業所が少なく、緊急時の利用及び希望日数の確保が困難な状況となっているため、指定事業所の確保が課題である。	
			実績(b)	1,552			111.3%				
		人分(月)	計画(a)	238	255	273		105.5%			
	実績(b)		251								
	短期入所(医療型)	人日分(月)	計画(a)	190	197	204		計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	指定事業所が少ないため、利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。		
			実績(b)	135			71.1%				
		人分(月)	計画(a)	39	42	44		69.2%			
	実績(b)		27								
	生活介護	人日分(月)	計画(a)	28,798	30,096	31,460		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)			利用者のニーズに応じた指定事業所、特に重症心身障がい者や強度行動障がい者、特別支援学校卒業生の受け入れが可能な指定事業所の確保が課題である。
実績(b)			26,271			91.2%					
人分(月)		計画(a)	1,309	1,368	1,430		100.3%				
	実績(b)	1,313									

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	27年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況	評価と課題	
指定 障害 福祉 サービス	日 中 活 動 系 サ ー ビ ス	療養介護	人分(月)	計画(a)	110	110	110		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	指定事業所が少ないため、利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。しかし、対象が医療機関であり、事業所が増えていない。 就労継続支援A型事業所の増加や就労支援機関の利用など選択肢が増えたことに伴い、就労移行支援の利用者数が減少となった。利用者の就労ニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。 指定事業所の増加に伴い利用者数も増加している。障がい者の就労ニーズに応えられるような就労機会の提供ができる指定事業所の確保が課題である。 指定事業所の増加に伴い利用者数も増加している。特別支援学校卒業生の受け入れについて偏りが生じる実態があることから、サービス希望者を安定的に受け入れられる体制の確保が課題である。 市内でサービスを提供できる指定事業所が限られるため、指定事業所の確保が必要である。 市内でサービスを提供できる指定事業所が限られるため、指定事業所の確保が必要である。 市内でサービスを提供できる指定事業所が限られるため、指定事業所の確保が必要である。
			実績(b)	109			99.1%			
		就労移行支援	人日分(月)	計画(a)	4,510	5,170	5,830		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	
				実績(b)	3,828			84.9%		
			人分(月)	計画(a)	205	235	265		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	
				実績(b)	174			84.9%		
		就労継続支援 (A型)	人日分(月)	計画(a)	3,674	5,016	6,864		達成できた(100%以上)	
			実績(b)	4,466			121.6%			
		人分(月)	計画(a)	167	228	312		達成できた(100%以上)		
			実績(b)	203			121.6%			
		就労継続支援 (B型)	人日分(月)	計画(a)	29,458	31,812	34,342		達成できた(100%以上)	
				実績(b)	31,240			106.0%		
	人分(月)		計画(a)	1,339	1,446	1,561		達成できた(100%以上)		
			実績(b)	1,420			106.0%			
	自立訓練 (機能訓練)	人日分(月)	計画(a)	462	462	462		達成できた(100%以上)		
		実績(b)	528			114.3%				
	人分(月)	計画(a)	21	21	21		達成できた(100%以上)			
		実績(b)	24			114.3%				
	自立訓練 (生活訓練・日中)	人日分(月)	計画(a)	1,430	1,562	1,562		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)		
			実績(b)	704			49.2%			
		人分(月)	計画(a)	65	71	71		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)		
実績(b)			32			49.2%				
自立訓練 (生活訓練・夜間)	人日分(月)	計画(a)	547	547	547		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)			
		実績(b)	517			94.5%				
	人分(月)	計画(a)	18	18	18		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)			
		実績(b)	17			94.4%				
サ ー ビ ス 系	居 住 系	施設入所支援	人分(月)	計画(a)	648	648	648		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	待機者の地域での安定した生活の支援、地域移行への推進が必要である。 地域移行の観点から、新規住居の開設数を増やしていく必要がある。
			実績(b)	621			95.8%			
	共同生活援助 (グループホーム)	人分(月)	計画(a)	388	438	488		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)		
			実績(b)	366			94.3%			
相 談 支 援	計画相談支援	人(月)	計画(a)	734	769	804		達成できた(100%以上)	サービス利用者の増加に伴い、サービス等利用計画の作成を担う指定相談支援事業所及び相談支援専門員の確保が課題である。 支援を提供する指定相談支援事業所および相談支援専門員の確保が課題である。 支援を提供する指定相談支援事業所および相談支援専門員の確保が課題である。	
			実績(b)	805			109.7%			
	地域移行支援	人(月)	計画(a)	17	19	22		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)		
			実績(b)	1			5.9%			
	地域定着支援	人(月)	計画(a)	28	28	28		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)		
			実績(b)	2			7.1%			

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	27年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況	評価と課題	
障がい児支援	児童発達支援	人日分(月)	計画(a)	1,837	2,145	2,508		達成できた(100%以上)	利用者数及び指定事業所数が増加している。また、国がサービス支給量の上限を定めたことから、今後は利用日数の抑制が見込まれる。	
			実績(b)	1,901			103.5%			
		人分(月)	計画(a)	167	195	228				
			実績(b)	204			122.2%			
	児童発達支援センター(福祉型)	箇所	計画(a)	1	1	1		達成できた(100%以上)	新潟市立児童発達支援センターにて日常生活における基本的な動作の指導をはじめ、知識技能の付与、集団生活への適応訓練の支援を行った。	
			実績(b)	1			100.0%			
	医療型児童発達支援	人日分(月)	計画(a)	113	113	113		達成できた(100%以上)	はまぐみ小児療育センターにて日常生活における基本的な動作の指導をはじめ、知識技能の付与、集団生活への適応訓練及び治療を行った。	
			実績(b)	140			123.9%			
		人分(月)	計画(a)	20	20	20				
			実績(b)	20			100.0%			
	児童発達支援センター(医療型)	箇所	計画(a)	1	1	1		達成できた(100%以上)	はまぐみ小児療育センターにて日常生活における基本的な動作の指導をはじめ、知識技能の付与、集団生活への適応訓練及び治療を行った。	
			実績(b)	1			100.0%			
放課後等デイサービス	人日分(月)	計画(a)	3,346	3,556	3,766		達成できた(100%以上)	利用者数及び指定事業所数が増加している。また、国がサービス支給量の上限を定めたことに伴い、今後は利用日数の抑制が見込まれる。		
		実績(b)	4,659			139.2%				
	人分(月)	計画(a)	478	508	538					
		実績(b)	449			93.9%				
保育所等訪問支援	人日分(月)	計画(a)	2	2	2		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	指定事業所が廃止となったことから、事業所の確保が課題である。また、サービス提供の在り方について検討が必要である。		
		実績(b)	0			0.0%				
	人分(月)	計画(a)	2	2	2					
		実績(b)	0			0.0%				
障がい児相談支援	人分(月)	計画(a)	111	120	131		達成できた(100%以上)	サービス利用者の増加に伴い、サービス等利用計画の作成を担う指定相談支援事業所及び相談支援専門員の確保が課題である。		
		実績(b)	185			166.7%				
障がい児入所施設(福祉型)	人分(月)	計画(a)	24	25	26		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	福祉型入所施設において福祉サービスの提供を行った。		
		実績(b)	8			33.3%				
障がい児入所施設(医療型)	人分(月)	計画(a)	12	12	12		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	医療型入所施設において福祉サービスの提供及び治療を行った。		
		実績(b)	10			83.3%				
地域生活支援事業	理解促進研修・啓発事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		達成できた(100%以上)	市民に広く障がいや障がいのある人、福祉についての関心や理解を深めてもらうため、「まちなか障がい福祉フェス(H27.11.1、イオン新潟南)」を開催した。	
			実績(b)	有			100.0%			
	自発的活動支援事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		達成できた(100%以上)	展示会・見本市・イベント・バザー等の開催・参加に係る経費等に対して補助金(授産製品販路拡大事業補助金)を交付した。	
			実績(b)	有			100.0%			
	相談支援事業	障がい者等相談支援事業	箇所	計画(a)	4	4	4		達成できた(100%以上)	基幹相談支援センターで役割を担っている。
				実績(b)	4			100.0%		
	基幹相談支援センター	設置の有無	計画(a)	有	有	有		達成できた(100%以上)	平成27年4月に市内4か所に開設し相談業務を担っている。	
実績(b)			有			100.0%				
住宅入居等支援事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		達成できた(100%以上)	基幹相談支援センターで役割を担っている。		
		実績(b)	有			100.0%				

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	27年度達成率 (実績(b)/計画(a))	達成状況	評価と課題	
地域生活支援事業	成年後見制度利用支援事業	人(年)	計画(a)	8	10	12		達成できた(100%以上)	事業が周知されてきたことに伴い、実績が計画を大幅に上回った。財源の確保が課題である。	
			実績(b)	22			275.0%			
	成年後見制度法人後見支援事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		達成できた(100%以上)	新潟市社会福祉協議会が実施する法人後見事業を支援した。	
			実績(b)	有			100.0%			
	コミュニケーション支援事業	手話通訳者設置事業	人(年)	計画(a)	11	11	11		達成できた(100%以上)	窓口に来庁した聴覚障がい者への情報支援がスムーズに行われた。
				実績(b)	11			100.0%		
		手話奉仕員・要約筆記奉仕員派遣事業	派遣延べ人数(年)	計画(a)	2,222	2421	2640		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	平日の昼間(医療機関への受診等)の派遣申請が増えているため、奉仕員の養成・確保が課題である。
				実績(b)	1,956			88.0%		
	移動支援事業	人(年)	計画(a)	1,215	1,288	1,365		達成できた(100%以上)	指定事業所が少ないため、利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。	
			実績(b)	1,199			98.7%			
		延時間(年)	計画(a)	105,860	107,342	108,845				
			実績(b)	117,107			110.6%			
	日常生活用具給付等事業	介護訓練支援用具	件(年)	計画(a)	55	55	55		計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。
				実績(b)	42			76.4%		
		自立生活支援用具	件(年)	計画(a)	187	187	187		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。
				実績(b)	178			95.2%		
		在宅療養等支援用具	件(年)	計画(a)	228	228	228		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。
				実績(b)	211			92.5%		
情報・意思疎通支援用具		件(年)	計画(a)	195	195	195		達成できた(100%以上)	平成27年4月から人工喉頭(埋込型用人工鼻)を給付品目に加えたことにより給付件数が増加した。 ※人工喉頭(埋込型用人工鼻)給付件数：117件	
		実績(b)	300			153.8%				
排せつ管理支援用具	件(年)	計画(a)	14,005	14626	15274		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。		
		実績(b)	13,084			93.4%				
居宅生活動作補助用具(住宅改修費)	件(年)	計画(a)	29	29	29		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。		
		実績(b)	24			82.8%				
地域活動支援センター	基礎的事業(自市分)	箇所	計画(a)	43	45	47		達成できた(100%以上)	Ⅲ型事業所が指定障がい福祉サービス事業所へ移行しており、事業所数が減少している。	
			実績(b)	41			95.3%			
	人(年)	計画(a)	963	993	1,023					
		実績(b)	1,162			120.7%				
	基礎的事業(他市町村分)	箇所	計画(a)	2	2	2		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	利用者のニーズに応じるため、引き続き他市町村と連携を図る必要がある。 (27年度に五泉市、新発田市、聖籠町、燕市と市外在住者の利用者に関する協定書を締結)	
			実績(b)	2			100.0%			
人(年)	計画(a)	29	32	35						
	実績(b)	26			89.7%					
機能強化事業(自市分)	箇所	計画(a)	31	33	35		達成できた(100%以上)	Ⅰ型事業所は今後の設置計画、Ⅱ型事業所は入浴希望者数の増加等の課題があることから、利用者のニーズに応じた事業所整備の検討が必要である。		
		実績(b)	31			100.0%				
人(年)	計画(a)	755	785	815						
	実績(b)	1,020			135.1%					

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	27年度達成率 (実績(b)/計画(a))	達成状況	評価と課題	
地域生活支援事業	地域活動 支援セ	機能強化事業（他市町村分）		箇所	計画(a)	2	2	2	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	利用者のニーズに応じるため、引き続き他市町村と連携を図る必要がある。 (27年度に五泉市、新発田市、聖籠町、燕市と市外在住者の利用者に関する協定書を締結)
				実績(b)	2			100.0%		
				人(年)	計画(a)	29	32	35		
				実績(b)	26			89.7%		
	発達障がい者支援センター運営事業		箇所	計画(a)	1	1	1	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	今後もセンターとして支援体制の充実を図る必要がある。	
			実績(b)	1			100.0%			
			人(年)	計画(a)	1,200	1,200	1,200			
			実績(b)	1,039			86.6%			
	障がい児等療育支援事業		箇所	計画(a)	1	1	1	達成できた(100%以上)	基幹相談支援センター（平成27年4月開設）に配属している障がい児支援コーディネーターが相談支援にあたっている。	
				実績(b)	1					100.0%
	専門性の高い意思疎通支援を行う者 の養成研修事業	要約筆記養成研修事業		登録見込み者数	計画(a)	89	99	109	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	現在登録している奉仕員に対し研修会を実施するなど、より多くの要約筆記の養成する必要がある。
		実績(b)	61			68.5%				
	専門性の高い意思疎通支援を行う者 の派遣事業	盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業		登録見込み者数	計画(a)	53	56	59	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	高い技術を要する盲ろう者向け通訳・介助員をより多く養成するため、基礎となる手話や点訳の技術を有する奉仕員等に研修受講を働きかけていく必要がある。
		実績(b)	52			98.1%				
	専門性の高い意思疎通支援を行う者 の派遣事業	盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業		実利用人数	計画(a)	11	11	11	達成できた(100%以上)	制度の周知を図り、潜在的なニーズを把握し、支援に繋げていく必要がある。
				実績(b)	11			100.0%		
				派遣延べ人数(年)	計画(a)	1,155	1,340	1,554	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	利用者の社会参加のために必要な支援を行うことができた。今後、利用者がより使いやすい制度となるよう制度の見直しをする必要がある。
		実績(b)	862			74.6%				
	その他の支援事業	日中一時支援事業		日分(年)	計画(a)	15,023	15,624	15,936	達成できた(100%以上)	利用者数の増加が続いていることから、利用者のニーズ把握及びニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。
					実績(b)	16,733				
訪問入浴サービス事業		人(年)	計画(a)	67	71	75	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	夏季期間の利用回数を週3回に拡大したことで、重度身体障がい者の福祉の向上に寄与することができた。		
			実績(b)	54					80.6%	
更生訓練費・施設入所者就職支度金給付事業		件(年)	計画(a)	2,390	2,480	2,573	達成できた(100%以上)	概ね計画どおり利用者が増加し、社会参加の促進に寄与していくことができた。		
			実績(b)	2,416					101.1%	
福祉ホーム事業		箇所	計画(a)	2	2	2	計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	1施設が利用者減少により事業を廃止した。残り1施設について、グループホームへの移行を視野に入れ今後の事業の継続を検討する必要がある。		
			実績(b)	1					50.0%	
			人(年)	計画(a)	13	13			13	
実績(b)		9				69.2%				
障がい者ITサポートセンター運営事業		箇所	計画(a)	1	1	1	達成できた(100%以上)	教育・医療機関と連携することで、潜在的なニーズを掘り起こす必要がある。		
			実績(b)	1					100.0%	
手話奉仕員等養成研修事業	手話奉仕員養成研修		登録者数(人)	計画(a)	101	106	111	達成できた(100%以上)	登録者数は一定数確保されているが、より質の高い奉仕員を養成する必要がある。	
	実績(b)	112			110.9%					
		要約筆記奉仕員養成研修	登録者数(人)	計画(a)	121	126	131	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	当事業の周知を図り、講座受講者を増やすとともに、質の高い奉仕員を養成する必要がある。	
実績(b)	85				70.2%					